

物件目録

一、名称 窓枠用気密ビース

二、構造

1乃至3は窓枠（アルミサッシ）に使用する気密ビースで、1は上部レール用、2及び3は下部レール用のものである。

1b、2a及び3aの表面に、弾力に富む軟らかい材質の封止体a、2a及び3aを立体的且つ一体的に成形した構造で、これら取付け基台1a、2a及び3aには窓枠のレールを挿通するためのレール溝4が形成され、このレール溝4に面して封止体1b、2b及び3bが設けられている。

封止体1b、2b及び3bには、レール溝4と同じ位置にレール溝4より狭いスリット5が形成されている。スリット5の幅は、挿通するレールの厚さに対応して上部レール用は狭く、

下部レール用は広い。

6は取付け用のビス孔で、取付け基台1a、2a及び3aに形成する。

三、材質

気密ビース1乃至3の硬い取付け基台1a、2a及び3aはポリプロピレン樹脂製で、軟らかい封止体1b、2b及び3bはスチレンボリマーとエチレンボリマーとブチレンボリマーとのブロックコポリマー製である。

四、製法

気密ビース1乃至3を製造するには、先ず、ポリプロピレン樹脂を金型内に溶融射出成形し、その固化後、スチレンボリマーとエチレンボリマーとブチレンボリマーとのブロックコポリマーを溶融射出して、これによりポリプロピレン樹脂製の硬い取付け基台1a、2a及び3aの表面に、何らの接着剤を使用しないで、スチレンボリマーとエチレンボリマーとブチレン

ボリマードのブロックコボリマー製の軟らかい封止体 1 b、2 b 及び 3 b を立体的且つ一体的に融着成形させる。

五、用途

これらの気密ビースは引違い式窓枠（アルミサッシ）の気密保持に使用する。

引違い式窓枠は、固定窓枠 7 の内側にガラス付きの 2 枚の可動窓枠 8 を引違い式に嵌め込んだ構造で、この可動窓枠 8 の上部と下部に、それぞれ上部レール用の気密ビース 1 と下部レール用の気密ビース 2 または 3 をビス 9 で固定し、固定窓枠 7 の上部と下部のレール 10 を気密ビースのレール溝 4 及びスリット 5 内に摺動自在に挿入する。

ここで取付け基台 1 a、2 a 及び 3 a は硬質だから、可動窓枠 8 に嵌め入れてビス孔 6 にビス 9 を挿通することにより確実に固定できる。1 1 は戸車、1 2 はロック金具を示す。

窓を閉めたとき、気密ビース 1 乃至 3 はレールと可動窓枠 8 の隙間を封鎖して内外の気密を保持する。

ここで封止体 1 b、2 b 及び 3 b は軟質で弾力に富むから、レールの側面に良く密着して気密を保ち、また可動窓枠 8 の移動にも支障がなく円滑に窓を開閉できる。

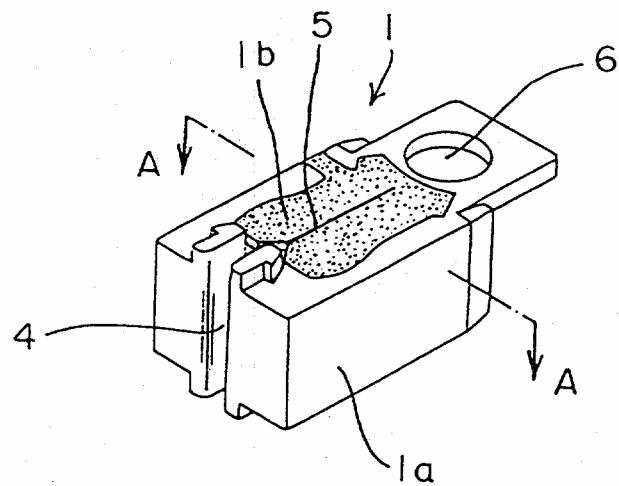
六、図面の説明

図 1 は上部レール用の気密ビースの斜視図、図 2 は図 1 の A-A 線に沿う断面図、図 3 は下部レール用の気密ビースの斜視図、図 4 は図 3 の B-B 線に沿う断面図、図 5 は下部レール用の別の気密ビースの斜視図、図 6 は図 5 の気密ビースの平面図、図 7 は引違い式窓枠（アルミサッシ）の正面図、図 8 (A) 及び (B) はいずれも可動窓枠の正面図、図 9 は気密ビースの取付け状態を示す窓枠の要部拡大断面図。

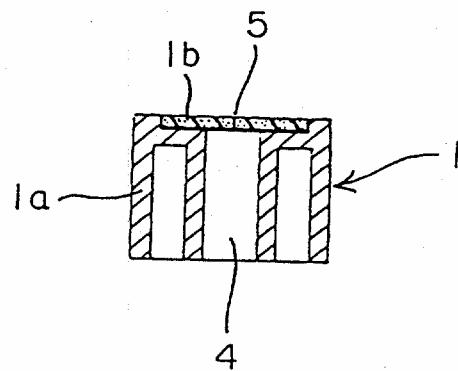
1 b、2 b 及び 3 b は封止体、4 はレール溝、5 はスリット、1 a、2 a 及び 3 a は取付け基台、

6は取付け用のビス孔、7は固定窓枠、8は可動窓枠である。

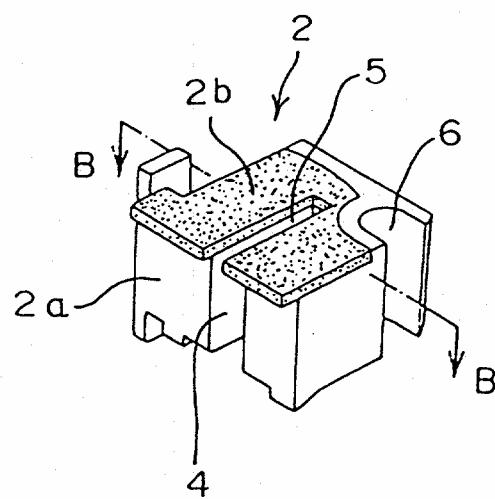
【図 1】



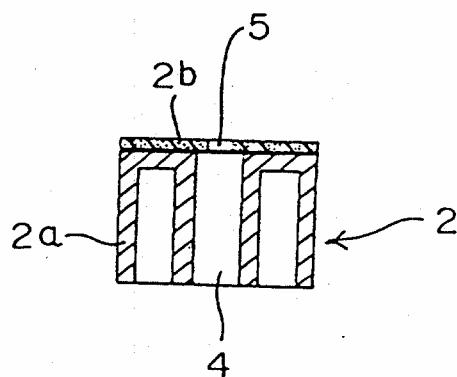
【図 2】



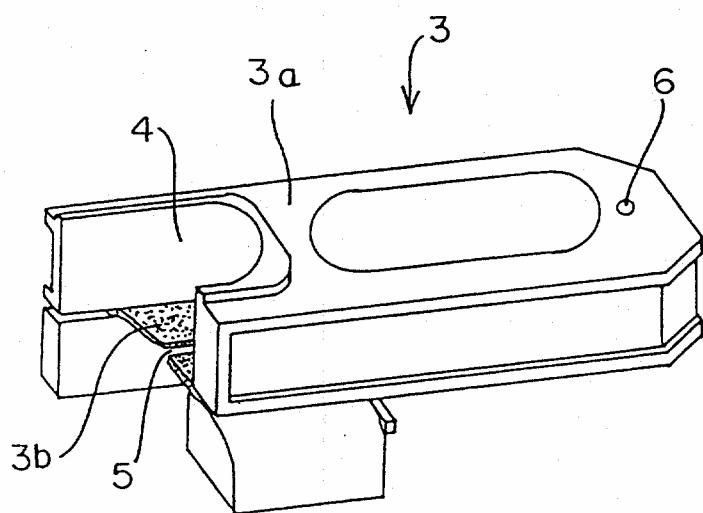
【図 3】



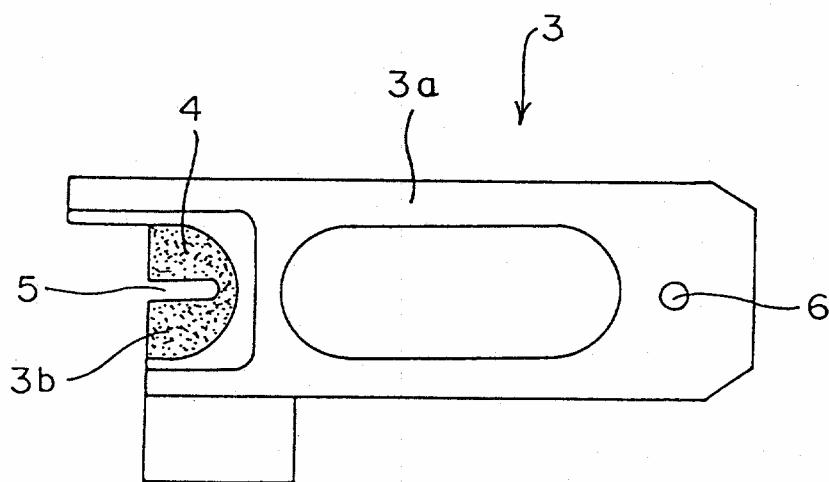
【図 4】



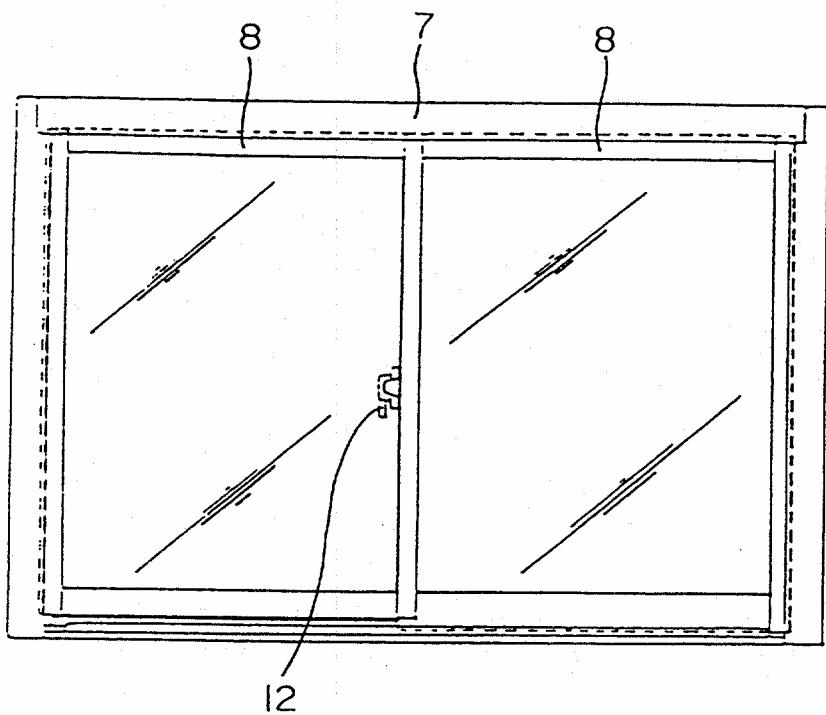
【図 5】



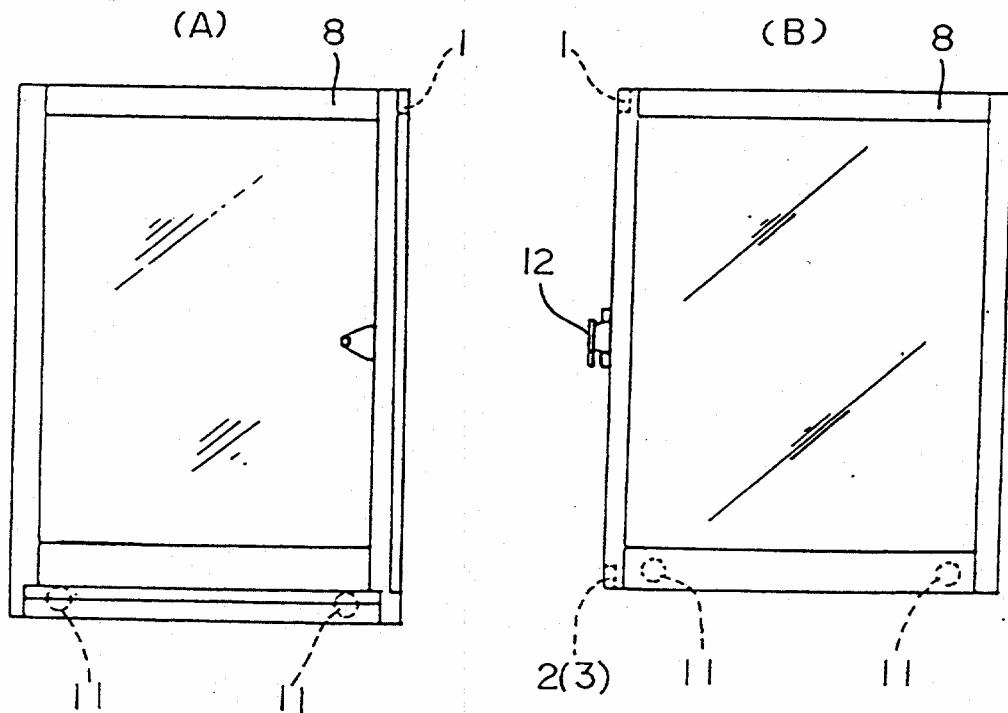
【図 6】



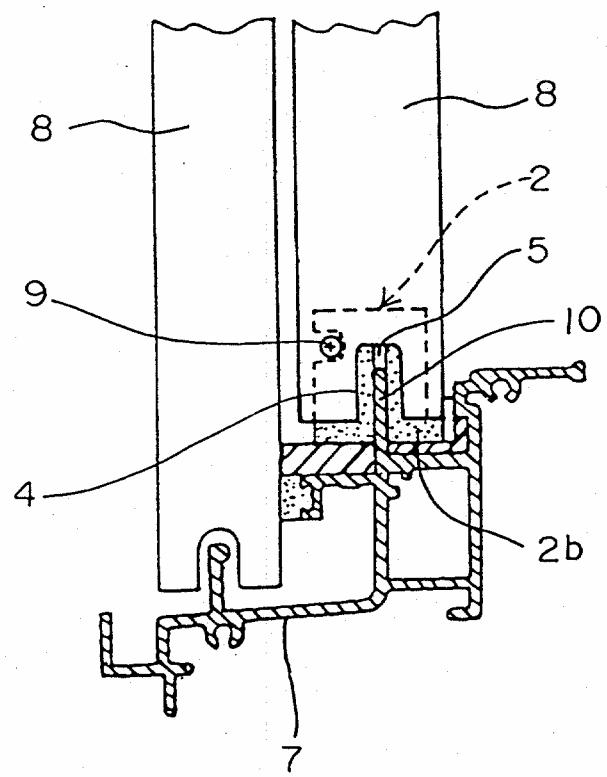
【図 7】



【図 8】

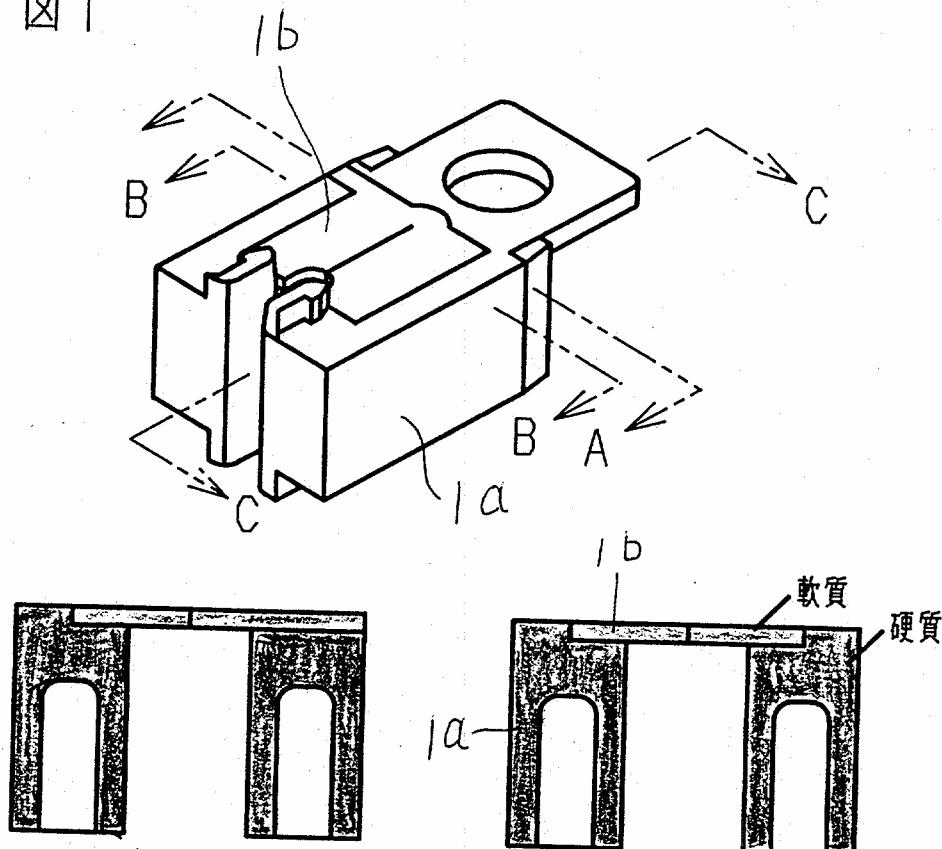


[図 9]



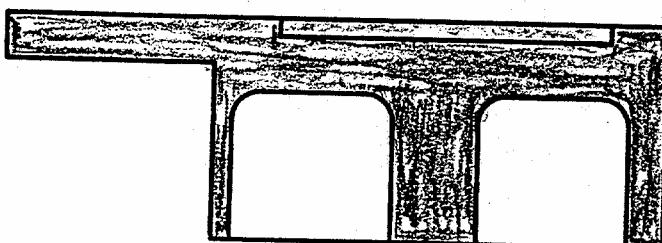
被告図面

図1



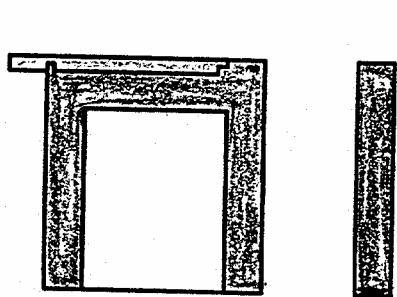
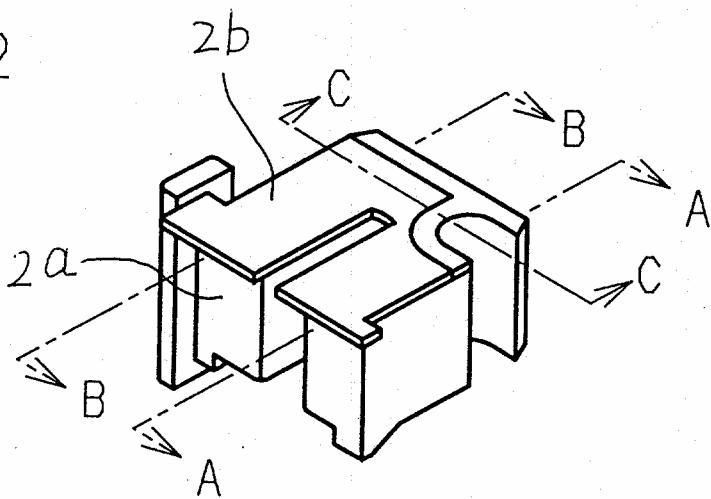
A-A断面図

B-B断面図

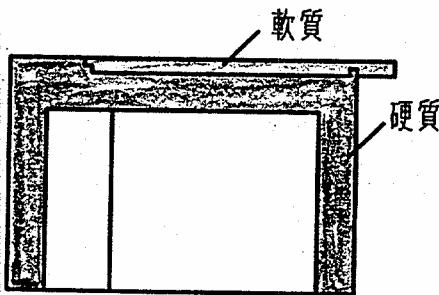


C-C断面図

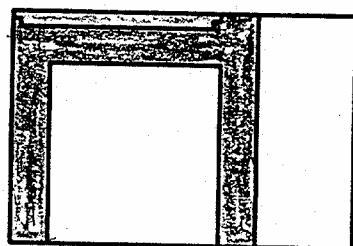
図2



A-A断面図

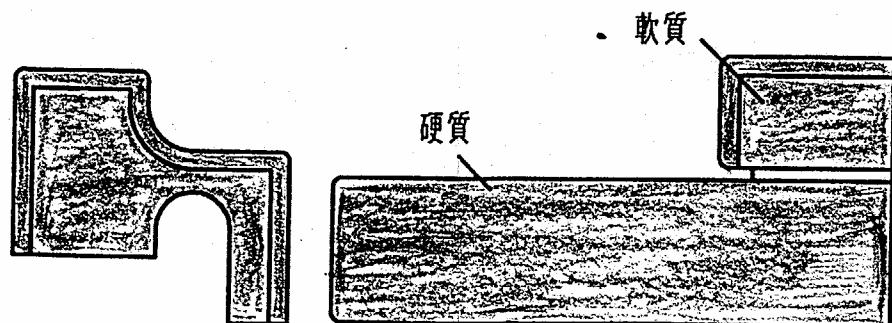
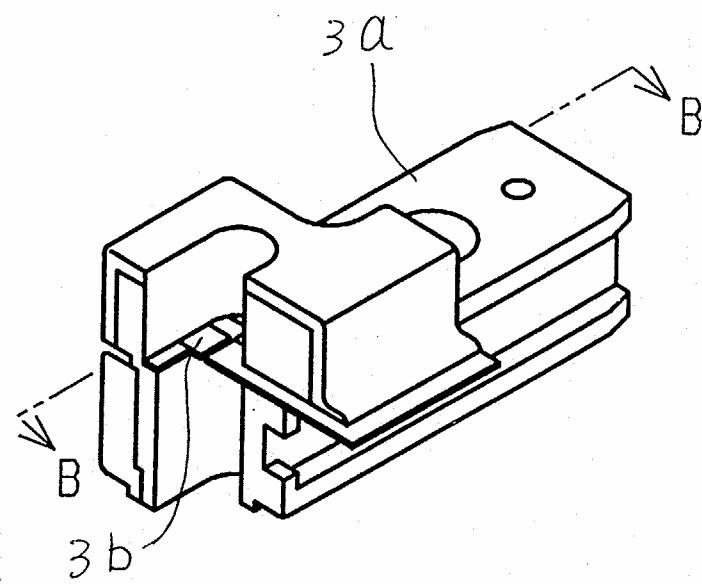
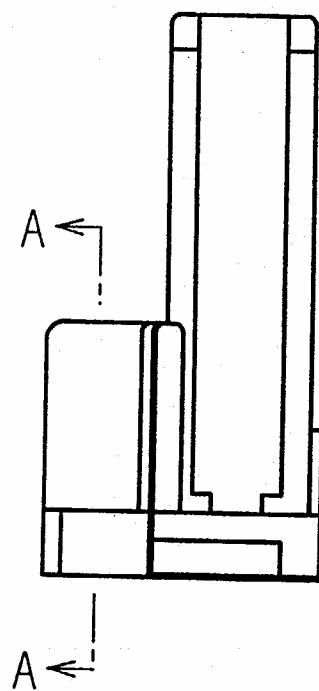


B-B断面図



C-C断面図

図3



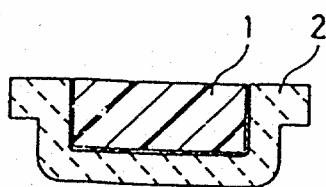
A-A断面図

B-B断面図

先願考案図面

公開実用 昭和61-24050

第1図



第2図

